

はばたきインクル支援だより



深谷はばたき特別支援学校 令和3年3月1日 No.29



令和2年度もあと1ヶ月を残すばかりです。子どもたちはこの1ヶ月でも伸びる可能性を持っています。今年度のまとめとして、ひとことメモをいくつか上げます。子どもたち・支援者のお役に立てることがまだまだあるかもしれません。

今年度のまとめ 一ひとことメモー

1. 子どもの怒りの感情を受け止めるには？

(1) 子どもの怒りのシミュレーションをする

- ・ イラッとするような言葉を投げかけられても「ほら、来たっ！」で対処できる。
- ・ 「まだまだ余裕」「この程度じゃ、私は怒りませんよ」と受け止めることができる。
- ・ 「ここまできたら他の人に交代」のラインを決め、言い過ぎや体罰を防ぐ。

(2) 支援者自身の苦手な状況を知る(例)

- ・ 家族で体調が悪い人がいた時はイライラしやすい。
- ・ 朝から家族・同僚と意見が合わず、納得できない思いを引きずっている。

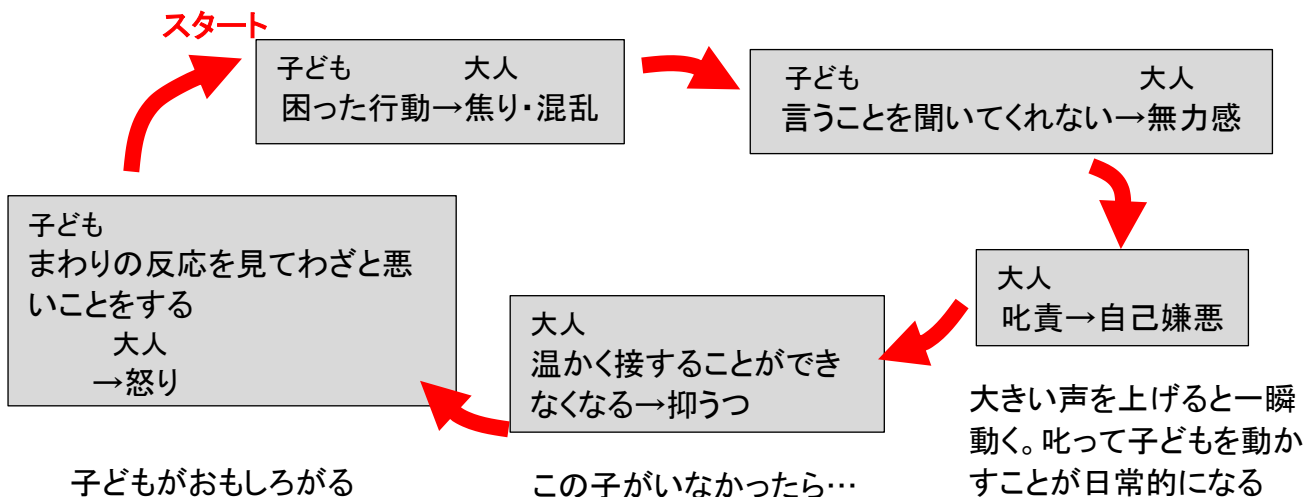
(3) 子どもにコーピングレシピ(ストレス対処法)をたくさん教える (「安心の宝箱」などと名前をつけて、困った時に取り出すイメージを作る)

- ・ 先生に話す 先生に近くにいてもらう
- ・ 友だちとドッジボール
- ・ お茶を飲む 休憩
- ・ 好きな絵や写真を見る(カードブックを作る)
- ・ おまじないのことば(まあいいか 次がある 気にしない)
- ・ 深呼吸 アロマ
- ・ ストレッチ マッサージ



2. 発達障害のある子をめぐる周囲の悪循環とは？

(1) 悪循環



(2) ほめて悪循環を断つ

- ・ ほめることは、肯定的な注目を子どもに向けているということです。「迎合」ではありません。
- ・ 子どもとの関係がよくなると、次の指示が入らなくなります。
- ・ 普段からほめる環境だと、切り替えが早くなります。
- ・ ほめ方のコツは以下のとおり
 - * タイミングを逃さない
 - * 笑顔でほめる 子どもを見てほめる 子どもの視線でほめる
 - * 行動をほめる
 - * 他の子と比較しない
 - * 皮肉を言わない
 - * 子どもの性格や年齢に配慮したほめ方をする
 - * 他の子どももほめる



3. なかなかやってくれない子どもへの対応

- (1) Yes・No の2択から、Yes・Yes の2択へ
「やる？ やらない？」ではなく、「先生とやる？」「自分でやる？」
- (2) しない指示から、する指示へ
「〇〇しないで」ではなく、「〇〇して」という伝え方
- (3) 許容(内容)から、受容(気持ち)へ
「仕方ないなあ」ではなく、「気持ちはわかる！ でも〇〇するのはいけないよ」
- (4) 怒る(感情)から、叱る(行動の修正)へ
- (5) ダメ(価値観の否定)から、具体的に「〇〇はやめて、〇〇しよう」と伝える
- (6) 指示(〇〇して)の指導から、主体性(どうしたいの?)を引き出すかわかりへ

4. 支援者同士の接し方は？

保護者と教員が共通理解をして、子どもに接することは大切です。一貫したかわりができる、子どもの混乱が少なくなり、学習内容の定着も図られます。そのためにはお互いが信頼関係を持つことが大切です。以下のことを心がけて接してみてください。

- ・ 努力を肯定する(やってこなかったことや悪かったことばかりを見ない)
- ・ 理想の子育ては存在しない(自分の子育て論・教育論を押し付けない)
- ・ 何が問題点か、何が原因と考えているのかを理解し合う
- ・ 子どものことで誰かに何かを言われたり、嫌な思いをしていないか？
- ・ 価値観の違いを認め合う
- ・ 問題解決能力には個人差があることを理解する
- ・ 相手の発言の後で「でもね」を言わない
- ・ 自分のことすらよくわからず思い通りにはならないもの。人のことを思い通りにしようと思うのはおこがましいこと
- ・ 話し合う場が持てたことをねぎらう



支援者のチェックリストとして使うことができそうですね。支援を要する子どもだけではなく、どんな子どもたちにもこのような接し方ができる家庭や学級は、温かく居心地がよいと思います。ぜひお試しください。